

- 問1 洪水が発生する恐れがある場合に備え、事前にハザードマップを確認して避難経路を選定する際の指針として、地理的な観点から最も適切な記述はどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 浸水予想地域から出るまでの距離が短く、かつ河川の近くを通らずに避難できる経路を選ぶ。 | 2. 増水の状況を確認しながら避難できるように、できるだけ河川の堤防の上を通る経路を選ぶ。 | 3. 浸水が始まった際に周囲の状況を把握しやすくするため、建物が少ない浸水予想地域の中央を通り抜ける経路を選ぶ。 | 4. 避難時の体力の消耗を防ぐため、浸水予想地域内であっても可能な限り平坦な道が続く経路を選ぶ。 |
|---|---|--|--|
- 問2 日本列島の中央部に位置するフォッサマグナを境界として、各地の山脈や山地が連なっている方向には大きな違いがあります。フォッサマグナより東側の地域と、西側の地域における山脈の一般的な連なりの方向の組み合わせとして、正しいものはどれですか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 東側：南北方向、西側：東西方向 | 2. 東側：北東方向、西側：南西方向 | 3. 東側：東西方向、西側：南北方向 | 4. 東側：南西方向、西側：北東方向 |
|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
- 問3 日本列島が位置している、太平洋を囲むように連なる地震や火山活動が活発な地域の名称として正しいものを選んでください。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------------|---------|------------|
| 1. 古期造山帯 | 2. アルプス・ヒマラヤ造山帯 | 3. 安定陸塊 | 4. 環太平洋造山帯 |
|----------|-----------------|---------|------------|
- 問4 各自治体が作成・公表している、地震や洪水などの自然災害が発生した際に被害が及ぶ可能性のある範囲や、避難場所・避難経路などの情報をまとめた地図を何と呼びますか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------------------|---------|--------|
| 1. 土地利用図 | 2. ハザードマップ (被害想定地図) | 3. 等高線図 | 4. 地形図 |
|----------|---------------------|---------|--------|
- 問5 日本だけでなくオーストラリアなどの諸外国においても、地震、水害、竜巻などの自然災害が発生している。こうした地域で、被害が想定される区域を示した地図を用いて、住民が自らリスクをチェックすることの目的として最も適切なものはどれか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|----------------------------------|--|--|
| 1. 過去に発生したすべての気象現象を詳細に記録し、歴史資料として保管するため | 2. 土地の価格が将来どのように変動するかを投資家が予測するため | 3. 自然災害による被害を完全にゼロにするための大規模な土木工事を住民が行うため | 4. 住民が自分の住んでいる場所の危険性を正しく理解し、災害時の迅速な避難に役立てるため |
|---|----------------------------------|--|--|
- 問6 日本海側の地域において、冬に雪や雨などの降水量が多くなるメカニズムとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 大陸からの冷たく乾燥した北西の季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を取り込み、山脈にぶつかって上昇気流となるため。 | 2. 赤道付近で発生した湿った空気が、冬の時期に日本海側の低気圧に向かって集中的に流れ込み、停滞するため。 | 3. 日本海を流れる暖流によって海水温が上昇し、一年を通じて上昇気流が発生しやすくなるため。 | 4. 南東から吹く暖かく湿った季節風が、日本海を流れる寒流の影響で急激に冷やされ、大量の雲を発生させるため。 |
|--|---|--|--|
- 問7 河川が運んできた細かい砂や泥が、河口付近に積もってできる、平坦で低く湿った地形を何といいますか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|--------|--------------|
| 1. 台地 | 2. カルデラ | 3. 扇状地 | 4. 三角州 (デルタ) |
|-------|---------|--------|--------------|
- 問8 中部地方のほぼ中央には、標高3000m級の峻険な山々が連なる3つの山脈があり、これらは総称して「日本アルプス」と呼ばれます。このうち、最も北側に位置し、新潟県・富山県・岐阜県・長野県の境にまたがる山脈の名称を選びなさい。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 木曽山脈 | 2. 奥羽山脈 | 3. 赤石山脈 | 4. 飛騨山脈 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問9 天井川の形成プロセスとその背景にある要因について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 大規模な地殻変動によって、河川が流れている範囲の地盤だけが局地的に隆起した。 | 2. 上流から運ばれた土砂による川底の堆積と、人間による堤防の積み増しが繰り返された。 | 3. 河口付近で波の作用により砂が溜まり、川の流れがせき止められて水位が上昇した。 | 4. 河川の浸食作用が強まったことで周囲の土地が削られ、相対的に川の位置が高くなった。 |
|---|---|---|---|
- 問10 長野県などの山々に囲まれた地域 (中央高地) では、夏と冬の気温差や昼と夜の気温差が非常に大きくなり、年間降水量が少なくなる傾向があります。このような気候の特徴が生じる地理的な理由として最も適切なものはどれですか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 周囲を高い山々に囲まれているため、湿った季節風が遮られ、熱がこもりやすい盆地特有の地形であるから | 2. 一年を通じて偏西風が強く吹き抜けるため、低気圧や前線が停滞しにくく乾燥した空気が保たれるから | 3. シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が山を越えて吹き込み、冬に大量の降雪をもたらすから | 4. 暖流である日本海海流 (対馬海流) の影響により、年間を通じて雲が発生しやすく日照時間が短いから |
|---|---|---|---|
- 問11 三角州の形成過程と土地利用に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 川が山地から平地に流れ出す場所に土砂が積もってできた地形で、水はけがよいため果樹園などに利用されることが多い。 | 2. 河川が運んできた砂や泥が河口付近に積もってできた地形で、水が得やすいため水田や都市として利用されることが多い。 | 3. 火山の噴火によって噴出した火山灰が厚く積もってできた地形で、排水が悪いためかつては大規模な原野が広がっていた。 | 4. 海面の下落や地盤の隆起によってできた、周囲より一段高い平坦な地形で、古くから畑や住宅地として利用されてきた。 |
|--|--|--|---|
- 問12 日本の地形的特徴である「フォッサマグナ」に関する説明として、最も適切なものはどれか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. ユーラシアプレートの下に太平洋プレートが沈み込むことで形成された、水深6,000mを超える深い溝である。 | 2. 東北地方の中央部を南北に走る、奥羽山脈を中心とした火山が連なる地域である。 | 3. 関東地方から九州地方にかけて、西日本を縦断するように伸びる日本最大の断層である。 | 4. 日本アルプスの東側に位置し、本州を東西に二分する巨大な陥没地帯である。 |
|---|--|---|--|
- 問13 鳥取県境港市を含む日本海側の地域では、冬の時期の降水量 (降雪を含む) が、太平洋側の地域と比較して多くなる傾向があります。このような気候の特徴をもたらす背景として、最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. シベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈にぶつかるため。 | 2. 冬にシベリア高気圧から吹き出す湿った北東の季節風が、暖流の影響で上昇気流を発生させるため。 | 3. 梅雨前線が冬の時期まで停滞し、日本海を通過する低気圧に向かって大量の雨を降らせるため | 4. 冬になると小笠原高気圧が勢力を強め、南東の季節風が大量の湿った空気を日本海側に運ぶため。 |
|--|--|---|---|